

学校コード F113310103340

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2
東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東京理科大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

学校法人東京理科大学 総務部総務課

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経営学部

＜国際デザイン経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	17
4. 既設大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	47

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東京理科大学

(2) 大学名

東京理科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒162-8601
東京都新宿区神楽坂一丁目3番地

〒049-3514
北海道山越郡長万部町字富野102番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマモト タカユキ) 浜本 隆之 (令和3年4月1日)		
学長	(オカムラ ソウイチロウ) 岡村 総一郎 (令和3年4月1日)	(イシカワ マサトシ) 石川 正俊 (令和4年1月1日)	前任者の辞任に伴い、令和3年4月1日付けで学長事務取扱就任(3)→令和4年1月1日付けで学長就任(4)
学部長	(キシモト カズオ) 岸本 一男 (令和3年4月1日)		
学科主任	(イイジマ ジュンイチ) 飯島 淳一 (令和3年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履状報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 国際デザイン経営学科 学士(経営学)	経済学関係	4 年	120 人	- 人	480 人	新規入学者を募集中	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	120人 (—) [—]	0人 (—) [—]	120人 (—) [—]	0人 (—) [—]	1.20倍	—	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	933 (—) [9]	0 (—) [—]	476 (—) [4]	— (—) [—]			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	901 (—) [9]	— (—) [—]	456 (—) [4]	— (—) [—]			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	291 (—) [3]	— (—) [—]	248 (—) [2]	— (—) [—]			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	178 (—) [3]	— (—) [—]	111 (—) [2]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	—		—		—		1.48		0.92				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ））書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次							178 [3] -	- [-] -	111 [2] (-)	- [-] -	
2年次									177 [3] (-)	- [-] -	
3年次											
4年次											
計							178 [3] (-)		288 [5] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
令和元年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	178 人	1 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	1 人	0 人	
令和4年度	288 人	0 人	平成30年度	- 人	- 人	
			令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{178} = \boxed{0.56} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{288} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 国際デザイン経営学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(自然を学ぶ科目群)	基礎数学および演習	1前	2								1	
	生命科学入門	2・3・4前	2								1	
	現代生物学概論	1・2・3・4前	2								2	
	現代物理学概論	1・2・3・4前	2								2	
	現代化学概論	1・2・3・4前	2								2	
小計 (5科目)			—	0	10	0	0	0	0	0	0	8
一般教養科目	倫理学 1	2・3・4前	2								1	
	倫理学 2	2・3・4後	2								1	
	論理学 1	2・3・4前	2								1	
	論理学 2	2・3・4後	2								1	
	哲学 1	2・3・4前	2								1	
	哲学 2	2・3・4後	2								1	
	宗教学 1	2・3・4前	2								1	
	宗教学 2	2・3・4後	2								1	
	現代思想	2・3・4後	2								1	
	芸術 1	2・3・4前	2								1	
	芸術 2	2・3・4後	2								1	
	文学 1	2・3・4前	2								1	
	文学 2	2・3・4後	2								1	
	歴史学 1	2・3・4前	2								1	
	歴史学 2	2・3・4後	2								1	
	比較文化論 1	1・2・3・4前	2								2	
	比較文化論 2	2・3・4後	2								1	
	英米文化論	1後	2								1	
	法学 1	2・3・4前	2								1	
	法学 2	2・3・4後	2								1	
	日本国憲法	2・3・4後	2								1	
	政治学 1	2・3・4前	2								1	
	政治学 2	2・3・4後	2								1	
	経済学 1	2・3・4前	2								1	
	経済学 2	2・3・4後	2								1	
	心理学 1	2・3・4前	2								1	
	心理学 2	2・3・4後	2								1	
	社会学 1	1・2・3・4前	2								2	
	社会学 2	1・2・3・4後	2								2	
	カウンセリング概論	2・3・4前	2								1	
小計 (30科目)			—	0	60	0	0	0	0	0	0	19

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(自然を学ぶ科目群)	基礎数学および演習	1前	2								1	
	現代数理学A	1前後	2								3	
	現代数理学B	1後	2								1	
	生命科学入門	1前	2								4	
	生命科学緒論	1・2前	2								3	
	現代生物学概論	1・2前	2								7	
	現代物理学概論	1・2前	2								3	
	現代化学概論	1・2前	2								1	
	生命科学実験1	1・2前	1								2	
	生命科学実験2	1・2後	1								2	
	生命科学詳論	2・3・4前	2								3	
小計 (11科目)			—	0	20	0	0	0	0	0	0	18
一般教養科目	現代社会と倫理	1・2前	2								2	
	倫理学	2・3・4前	2								2	
	論理学	2・3・4前	2								1	
	哲学	1・2前	2								1	
	宗教学	2・3・4前	2								1	
	現代思想	2・3・4前	2								1	
	芸術	1・2前	2								2	
	芸術文化論	2・3・4前	2								1	
	文学	1・2前	2								1	
	文化と文学 (アジア圏) (未開講)	2・3・4後	2									
	文化と文学 (ヨーロッパ圏) (未開講)	2・3・4後	2									
	読書論	1・2・3・4前	2								1	
	歴史学	1・2前	2								1	
	歴史と人間	1・2前	2								1	
	西洋近代史 (未開講)	2・3・4前	2									
	西洋現代史	2・3・4前	2								1	
	文化人類学	2・3・4前	2								1	
	外国文化論	2・3・4前	2								1	
	言語と文化 (未開講)	2・3・4前	2									
	比較文化論	2・3・4前	2								1	
	人文地理学	2・3・4前	2								1	
	社会と法	1・2後	2								1	
	法の現代的課題	2・3・4前	2								1	
	法の歴史と思想 (未開講)	2・3・4前	2									
	日本国憲法	2・3・4後	2								1	
	政治学	1・2前	2								1	
	政治と社会	1・2前	2								1	
	現代政治論 (未開講)	2・3・4前	2									
	国際関係論	2・3・4前	2								1	
	経済学	1・2前	2								1	
現代社会と経済理論	2・3・4前	2								1		
心理学	1・2前	2								2		
心理学と社会	2・3・4前	2								3		
臨床心理学	2・3・4前	2								1		
社会学	1・2前	2								2		
現代社会学	2・3・4前	2								2		
小計 (36科目)			—	0	72	0	0	0	0	0	0	23

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(キャリア形成を学ぶ科目群)	知的財産基礎	2・3・4前	2								1	
	日本語表現法 1	2・3・4前	2								1	
	日本語表現法 2	2・3・4後	2								1	
	組織文化論	2・3・4後	2								1	
	企業連携論	2・3・4前	2								2	
	地域連携論 1	1・2・3・4前	2								1	
	地域連携論 2	2・3・4後	2								1	
	小計 (7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	5
	一般教養科目 (外国語を学ぶ科目群)	Introduction to Practical English 1	1前	1								2
		Introduction to Practical English 2	1後	1								2
Reading and Writing 1		1前後	1								2	
Reading and Writing 2		1後	1								2	
Listening and Speaking 1		1前	1								3	
Listening and Speaking 2		1後	1								3	
Reading and Writing 3		2前	1								11	
Reading and Writing 4		2後	1								11	
Listening and Speaking 3		2前	1								11	
Listening and Speaking 4		2後	1								11	
Introduction to International Communication		1前	1								2	
Introduction to Oral Communication		1後	1								2	
Oral Communication 1		3・4前	1								3	
Oral Communication 2		3・4後	1								3	
Practical English 1		3・4前	1								5	
Practical English 2		3・4後	1								5	
International Communication 1		3・4前	1								5	
International Communication 2		3・4後	1								5	
ドイツ語 1		2・3・4前	1								1	
ドイツ語 2		2・3・4後	1								1	
フランス語 1		2・3・4前	1								1	
フランス語 2		2・3・4後	1								1	
中国語 1		2・3・4前	1								1	
中国語 2		2・3・4後	1								1	
小計 (24科目)	—	8	16	0	0	0	0	0	0	0	27	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(キャリア形成を学ぶ科目群)	知的財産論	1・2・3・4前	2								1
	知的財産とビジネス	2・3・4前	2								1
	知財経済論	2・3・4前	2								1
	日本語表現法	1・2・3・4前	2								1
	ライティング&プレゼンテーション	1・2・3・4前	2								2
	グローバルコミュニケーション論 (英語)	2・3・4後	2								2
	地域連携論 1	1・2前	2								2
	地域連携論 2	2・3・4後	2								1
	技術経営概論	1・2・3前	2								1
	情報と職業	1・2・3・4前	2								1
	日本事情1	1・2・3・4前	2								1
	日本事情2	1・2・3・4前	2								1
小計 (12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	0	6
一般教養科目 (外国語を学ぶ科目群)	Introduction to Practical English 1	1前	1								2
	Introduction to Practical English 2	1後	1								2
	Reading & Writing 1	1前後	1								3
	Reading & Writing 2	1後	1								3
	Listening & Speaking 1	1前	1								3
	Listening & Speaking 2	1後	1								3
	Reading & Writing 3	2前	1								11
	Reading & Writing 4	2後	1								11
	Listening & Speaking 3	2前	1								11
	Listening & Speaking 4	2後	1								11
	Introduction to International Communication	1前	1								2
	Introduction to Oral Communication	1後	1								2
	Oral Communication 1	3・4前	1								3
	Oral Communication 2	3・4後	1								3
	Practical English 1	3・4前	1								5
	Practical English 2	3・4後	1								5
	International Communication 1	3・4前	1								5
	International Communication 2	3・4後	1								5
	ドイツ語 (中級A)	2・3・4前	1								1
	ドイツ語 (中級B)	2・3・4後	1								1
	ドイツ語 (中級C) (未開講)	2・3・4前	1								
	ドイツ語 (中級D) (未開講)	2・3・4後	1								
	フランス語 (中級A) (未開講)	2・3・4前	1								
	フランス語 (中級B) (未開講)	2・3・4後	1								
	ロシア語 (中級A)	2・3・4前	1								1
	ロシア語 (中級B)	2・3・4後	1								1
	中国語 (中級A)	2・3・4前	1								1
	中国語 (中級B)	2・3・4後	1								1
	ドイツ語 (初級A)	1・2・3・4前	1								5
	ドイツ語 (初級B)	1・2・3・4後	1								5
	ドイツ語 (初級C)	1・2・3・4前	1								2
	ドイツ語 (初級D)	1・2・3・4後	1								2
	フランス語 (初級A)	1・2・3・4前	1								3
	フランス語 (初級B)	1・2・3・4後	1								3
	フランス語 (初級C)	1・2・3・4前	1								1
	フランス語 (初級D)	1・2・3・4後	1								1
	ロシア語 (初級A)	1・2・3・4前	1								3
	ロシア語 (初級B)	1・2・3・4後	1								3
	ロシア語 (初級C)	1・2・3・4前	1								1
	ロシア語 (初級D)	1・2・3・4後	1								1
	中国語 (初級A)	1・2・3・4前	1								4
	中国語 (初級B)	1・2・3・4後	1								4
	中国語 (初級C)	1・2・3・4前	1								3
	中国語 (初級D)	1・2・3・4後	1								3
	日本語会話 (基礎) (未開講)	1・2前	1								
	日本語会話 (初級) (未開講)	1・2後	1								
	日本語会話 (中級A) (未開講)	1・2前	1								
	日本語会話 (中級B) (未開講)	1・2後	1								
	日本語文法 (基礎)	1・2前	1								1
	日本語文法 (初級)	1・2後	1								1
	日本語文法 (中級A)	1・2前	1								1
	日本語文法 (中級B)	1・2後	1								1
小計 (52科目)	—	8	44	0	0	0	0	0	0	0	40

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教養科目 (領域を超えて学ぶ科目群)	科学技術と社会	2・3・4後	2								1
	科学史 1	2・3・4後	2								1
	科学史 2	2・3・4後	2								1
	現代技術論	2・3・4後	2								1
	情報社会および情報倫理	2・3・4前	2								1
	ビジネスモデル入門	1後	2								1
	コミュニケーション技術	1前	2								1
	コンピュータ技術	1前	2								1
	健康スポーツA (実技)	1・2・3・4前	1								8
	健康スポーツB (実技)	1・2・3・4後	1								8
	健康スポーツC (実技)	2・3・4前	1								7
	健康スポーツD (実技)	2・3・4後	1								7
	シーズンスポーツ実習 1	1・2・3・4前	1								11
	シーズンスポーツ実習 2	1・2・3・4後	1								10
	日曜集中体育実習	2・3・4前	1								3
	健康・スポーツ科学	2・3・4前	2								4
	特別教養講義 2	2・3・4前	2								1
小計 (17科目)	—	0	27	0	0	0	0	0	0	0	30
基礎科目 (専門基礎)	テック基礎	1後	2			1					1
	コ・デザインプロジェクト	1前	3			1	1	1			
	経営学入門	1前	2								1
	国際デザイン経営概論	1前	2			5	3	3			
	Global Leadership	2前	2			1					
	デジタル技術の基礎数理	2前	2			1					
	Representation in Design (Basic)	2前	2				1				1
	経営管理論	2前	2			1					
小計 (8科目)	—	17	0	0	5	3	3	0	0	0	1
基礎科目 (基幹基礎)	線形代数および演習 1	1前後	2								2
	線形代数および演習 2	1後	2								1
	微分積分学および演習 1	1前後	2								2
	微分積分学および演習 2	1後	2								1
	情報基礎および演習 1	1前	2								2
	情報基礎および演習 2	1後	2								2
	プログラミング基礎 1	1前	1								2
	プログラミング基礎 2	1後	1								2
小計 (8科目)	—	14	0	0	0	0	0	0	0	0	6
基礎科目 (関連専門基礎)	統計入門	1後	2								2
	小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	2
専門科目	国際系ゼミナール 1	2前・後	1			1		1			
	デジタル系ゼミナール 1	2前・後	1			2	1				
	デザイン系ゼミナール 1	2前・後	1			1	1	1			
	経営学系ゼミナール 1	2前・後	1			1	1	1			
	国際系ゼミナール 2	3前・後	1			1		1			
	デジタル系ゼミナール 2	3前・後	1			2	1				
	デザイン系ゼミナール 2	3前・後	1			1	1	1			
	経営学系ゼミナール 2	3前・後	1			1	1	1			
	卒業研究 1	4前	2			5	3	3			
	卒業研究 2	4後	2			5	3	3			
	Introduction to European Studies	2前	3			1					
	基礎異文化コミュニケーション	2・3・4前	2								1
	International Management	3後	2			1					
アジア事情	3・4前	2			1						
応用異文化コミュニケーション	3・4前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教養科目 (領域を超えて学ぶ科目群)	科学技術と社会	1・2前後	2									2
	科学史	2・3・4前	2									2
	科学哲学	2・3・4後	2									1
	現代技術論	2・3・4前	2									1
	データサイエンス・AI概論	1・2前後	2									8
	統計学 1	2・3・4前	2									1
	統計学 2	2・3・4後	2									1
	情報社会及び情報倫理	1・2・3・4前	2									5
	情報化社会及びメディア	1・2・3・4後	2									3
	環境学	2・3・4前	2									3
	防災学 (未開講)	2・3・4後	2									
	ビジネスモデル入門	1後	2					1	1			
	コミュニケーション技術	1前	2									1
	コンピュータ技術	1前	2									1
	健康スポーツA (実技)	1・2・3・4前	1									8
	健康スポーツB (実技)	1・2・3・4後	1									8
	健康スポーツC (実技)	1・2・3・4前	1									7
	健康スポーツD (実技)	1・2・3・4後	1									6
	シーズンスポーツ実習 1	1・2・3・4前	1									8
	シーズンスポーツ実習 2	1・2・3・4後	1									8
	日曜集中体育実習	2・3・4前	1									2
	身体機能測定演習 (未開講)	2・3・4後	2									
	健康・スポーツ科学	1・2・3・4前	2									4
	ゲームデザインとスポーツ (未開講)	2・3・4後	2									
	初年次教養ゼミ A	1前後	2									2
	初年次教養ゼミ B	1後	2									2
	教養フォーラム (社会と人間)	1前	2									9
	教養フォーラム (文化と思想)	1前	2									5
	メディアと現代社会ゼミ (未開講)	2・3・4後	2									
	政策科学ゼミ	2・3・4前	2									1
	教育臨床心理学ゼミ	2・3・4後	2									1
	スポーツ科学ゼミ (未開講)	2・3・4前	2									
	法と科学ゼミ	2・3・4後	2									1
	歴史と文明ゼミ (未開講)	2・3・4前	2									
	知的財産ゼミ (未開講)	2・3・4後	2									
小計 (35科目)	—	0	63	0	1	1	0	0	0	0	0	43
基礎科目 (専門基礎)	テック基礎	1後	2			2	1					0
	コ・デザインプロジェクト	1前	3			2	2	2	1			3
	経営学入門	1前	2			1	1					0
	国際デザイン経営概論	1前	2			5	3	3				
	Global Leadership	2前	2			1		1	1			
	デジタル技術の基礎数理	2前	2			2	1					
	Representation in Design (Basic)	2前	2					1	1			
	経営管理論	2前	2			1		1				
小計 (8科目)	—	17	0	0	5	3	3	2	0	0	3	
基礎科目 (基幹基礎)	線形代数および演習 1	1前後	2									2
	線形代数および演習 2	1後	2									1
	微分積分学および演習 1	1前後	2									2
	微分積分学および演習 2	1後	2									1
	情報基礎および演習 1	1前	2									2
	情報基礎および演習 2	1後	2									2
	プログラミング基礎 1	1前	1									2
	プログラミング基礎 2	1後	1									2
小計 (8科目)	—	14	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
基礎科目 (関連専門基礎)	統計入門	1後	2									2
	小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
専門科目	国際系ゼミナール 1	2前・後	1			1		1			2	
	デジタル系ゼミナール 1	2前・後	1			2	1					
	デザイン系ゼミナール 1	2前・後	1			1	1	1				
	経営学系ゼミナール 1	2前・後	1			1	1	1	0			
	国際系ゼミナール 2	3前・後	1			1		1				
	デジタル系ゼミナール 2	3前・後	1			1	2	1				
	デザイン系ゼミナール 2	3前・後	1			1	1	1	1			
	経営学系ゼミナール 2	3前・後	1			1	1	1	1			
	卒業研究 1	4前	2			5	3	3				
	卒業研究 2	4後	2			5	3	3				
	Introduction to European Studies	2前	3					1	1	2		
	基礎異文化コミュニケーション	2・3・4前	2								1	1
	International Management	3後	2			1						
アジア事情	3・4前	2			1							
応用異文化コミュニケーション	3・4前	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	Ecosystem and Standardization	3・4後	2					1					
	Japan in a Global Context	3・4後	2			1							
	データ分析入門	2後	2			1							
	Information Systems Design	2後	2				1						
	Enterprise Architecture with Digital IT Strategy	3後	2			1							
	デジタル・ヘルスケア	3・4前	2			1							
	情報セキュリティ	3・4前	1								1		
	プログラミング応用	3・4前	2				1						
	Data Strategy	3・4後	2			1							
	Information Ethics	3・4前	2									1	
	Project Management	3・4後	2				1						
	立体デザイン論	2前	2					1					
	Creative Confidence	2後	2				1						
	ミーティングデザイン	2・3・4前	2									1	
	Design Thinking (Basic)	3前	2						1				
	ナラティブ理論	3・4後	1									1	
	Global Public Life	3・4後	2					1					
	Design Thinking (Advanced)	3・4後	2						1				
	Entrepreneurship and Innovation	3・4前	2									1	
	Operations Management	2後	2			1							
	企業倫理	2後	2					1					
	経営の経済学	2・3・4前	2									2	
	会計学概論	2・3・4後	2									1	
	Management Information	3前	2					1					
	経営組織論	3・4前	2						1				
	経営分析	3・4後	2								1		
	経営戦略論	3・4前	2						1				
	Information Systems Strategy and Management	3・4後	2					1					
	Data Visualization for Business	3・4前	2					1					
	Digital Marketing	3・4前	2			1							
	イノベーションマネジメント	3・4後	2			1							
ビジネスゲーム	3・4後	2			1								
ビジネス法務	3・4後	2									1		
Service Science	3・4後	2			1								
営業の科学	3・4前	2									1		
キャリアデザイン	2・3・4後	2									1		
小計 (51科目)	—	27	66	0	5	3	3	0	0	0	11		
合計 (151科目)	—	68	193	0	5	3	3	0	0	0	95		
卒業要件及び履修方法													
一般教養科目のうち必修科目から8単位、選択必修2単位、選択科目18単位、基礎科目のうち必修33単位、専門科目のうち必修科目27単位、選択必修科目4単位、選択科目26単位を修得する。さらに経営学部・他学部の科目から10単位を修得し、128単位を修得する。 (履修科目の登録の上限：49単位 (年間))													

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	Ecosystem and Standardization	3・4後	2						1				
	Japan in a Global Context	3・4後	2			1							
	データ分析入門	2後	2			1	1						
	Information Systems Design	2後	2				1						
	Enterprise Architecture with Digital IT Strategy	3後	2				1						
	デジタル・ヘルスケア	3・4前	2			1							
	情報セキュリティ	3・4前	1									1	
	プログラミング応用	3・4前	2					1					
	Data Strategy	3・4後	2				1						
	Information Ethics	3・4前	2										1
	Project Management	3・4後	2					1					
	立体デザイン論	2前	2						1		1		
	Creative Confidence	2後	2				1			1			
	ミーティングデザイン	2・3・4前	2										1
	Design Thinking (Basic)	3前	2								1		
	ナラティブ理論	3・4後	1										1
	Global Public Life	3・4後	2							1			
	Design Thinking (Advanced)	3・4後	2							1			
	Entrepreneurship and Innovation	3・4前	2										1
	Operations Management	2後	2				1	1					
	企業倫理	2後	2							1	1		
	経営の経済学	2・3・4前	2										2
	会計学概論	2・3・4後	2										1
	Management Information	3前	2							1			
	経営組織論	3・4前	2								1		
	経営分析	3・4後	2										1
	経営戦略論	3・4前	2								1		
	Information Systems Strategy and Management	3・4後	2							1			
	Data Visualization for Business	3・4前	2							1			
	Digital Marketing	3・4前	2				1						
	イノベーションマネジメント	3・4後	2				1						
ビジネスゲーム	3・4後	2				1							
ビジネス法務	3・4後	2										1	
Service Science	3・4後	2				1							
営業の科学	3・4前	2										1	
キャリアデザイン	2・3・4後	2										1	
小計 (51科目)	—	27	66	0	5	3	3	0	0	0	11		
合計 (214科目)	—	68	289	0	5	3	3	0	0	2	0	144	
卒業要件及び履修方法													
一般教養科目のうち必修科目から8単位、選択必修2単位、選択科目20単位、基礎科目のうち必修33単位、専門科目のうち必修科目27単位、選択必修科目4単位、選択科目26単位を修得する。さらに経営学部・他学部の科目から8単位を修得し、128単位を修得する。 (履修科目の登録の上限：49単位 (年間))													

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自然を学ぶ科目群)	基礎数学および演習	1前		2								1
	生命科学入門	1・2・4前		2								2
	現代生物学概論	1・2・4前		2								2
	現代物理学概論	1・2・4前		2								3
	現代化学概論	1・2・4前		2								1
	小計(5科目)	—	0	10	0	0	0	0	0	0	0	9
(人間と社会を学ぶ科目群)	倫理学1	1・2・3・4前		2								1
	倫理学2	1・2・3・4前		2								1
	論理学1	1・2・3・4前		2								1
	論理学2	1・2・3・4前		2								1
	哲学1	1・2・3・4前		2								2
	哲学2	1・2・3・4前		2								1
	宗教学1	1・2・3・4前		2								1
	宗教学2	1・2・3・4前		2								1
	現代思想	1・2・3・4前		2								1
	芸術1	1・2・3・4前		2								1
	芸術2	1・2・3・4前		2								1
	文学1	1・2・3・4前		2								1
	文学2	1・2・3・4前		2								1
	歴史学1	1・2・3・4前		2								1
	歴史学2	1・2・3・4前		2								1
	比較文化論1	1・2・3・4前		2								2
	比較文化論2	1・2・3・4前		2								1
	英米文化論	1・2・3・4前		2								2
	法学1	1・2・3・4前		2								1
	法学2	1・2・3・4前		2								1
	日本国憲法	1・2・3・4前		2								1
	政治学1	1・2・3・4前		2								1
	政治学2	1・2・3・4前		2								1
	経済学1	1・2・3・4前		2								1
	経済学2	1・2・3・4前		2								1
	心理学1	1・2・3・4前		2								1
	心理学2	1・2・3・4前		2								1
	社会学1	1・2・3・4前		2								2
	社会学2	1・2・3・4前		2								2
	カウンセリング概論	1・2・3・4前		2								1
	小計(30科目)	—	0	60	0	0	0	0	0	0	0	21
一般教養科目	知的財産基礎	1・2・3・4前		2								1
	日本語表現法1	1・2・3・4前		2								1
	日本語表現法2	1・2・3・4前		2								1
	組織文化論	1・2・3・4前		2								1
	企業連携論	1・2・3・4前		2								1
	地域連携論1	1・2・3・4前		2								2
	地域連携論2	1・2・3・4前		2								2
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	0	6
(外国語を学ぶ科目群)	Introduction to Practical English 1	1前		1								2
	Introduction to Practical English 2	1後		1								2
	Reading and Writing 1	1前後		1								3
	Reading and Writing 2	1後		1								4
	Listening and Speaking 1	1前		1								3
	Listening and Speaking 2	1後		1								3
	Reading and Writing 3	2前		1								11
	Reading and Writing 4	2後		1								11
	Listening and Speaking 3	2前		1								11
	Listening and Speaking 4	2後		1								11
	Introduction to International Communication	1前		1								2
	Introduction to Oral Communication	1後		1								2
	Oral Communication 1	3・4前		1								3
	Oral Communication 2	3・4後		1								3
	Practical English 1	3・4前		1								5
	Practical English 2	3・4後		1								5
	International Communication 1	3・4前		1								5
International Communication 2	3・4後		1								5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教養科目 (外国語を学ぶ科目群)	ドイツ語 1	1・2・3・4期	1									1
	ドイツ語 2	1・2・3・4期	1									1
	フランス語 1	1・2・3・4期	1									1
	フランス語 2	1・2・3・4期	1									1
	中国語 1	1・2・3・4期	1									1
	中国語 2	1・2・3・4期	1									1
	小計 (24科目)	—	8	16	0	0	0	0	0	0	0	28
	科学技術と社会	1・2・3・4期	2									2
	科学史 1	1・2・3・4期	2									2
	科学史 2	1・2・3・4期	2									1
	現代技術論	1・2・3・4期	2									1
	情報社会および情報倫理	1・2・3・4期	2									1
	ビジネスモデル入門	1後	2			1	1					0
	コミュニケーション技術	1前	2									1
	コンピューテーション技術	1前	2									1
	健康スポーツA (実技)	1・2・3・4期	1									8
	健康スポーツB (実技)	1・2・3・4期	1									8
健康スポーツC (実技)	1・2・3・4期	1									7	
健康スポーツD (実技)	1・2・3・4期	1									6	
シーズンスポーツ実習 1	1・2・3・4期	1									10	
シーズンスポーツ実習 2	1・2・3・4期	1									8	
日曜集中体育実習	1・2・3・4期	1									3	
健康・スポーツ科学	1・2・3・4期	2									3	
特別教養講義 2 (未開講)	1・2・3・4期	2									0	
小計 (17科目)	—	0	27	0	1	1	0	0	0	0	29	
基礎科目 (専門基礎)	テック基礎	1後	2			1	1					0
	コ・デザインプロジェクト	1前	3			2	2	1				6
	経営学入門	1前	2			1	1					0
	国際デザイン経営概論	1前	2			5	3	3				
	Global Leadership	2前	2			1						
	デジタル技術の基礎数理	2前	2			1						
	Representation in Design (Basic)	2前	2				1					
	経営管理論	2前	2			1						
	小計 (8科目)	—	17	0	0	5	3	3	0	0	0	6
	基礎科目 (基幹基礎)	線形代数および演習 1	1前後	2								
線形代数および演習 2		1後	2									1
微積分および演習 1		1前後	2									2
微積分および演習 2		1後	2									1
情報基礎および演習 1		1前	2									2
情報基礎および演習 2		1後	2									2
プログラミング基礎 1		1前	1									2
プログラミング基礎 2		1後	1									2
小計 (8科目)	—	14	0	0	0	0	0	0	0	0	6	
基礎科目 (関連専門基礎)	統計入門	1後	2									2
	小計 (1科目)	—	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
専門科目	国際系ゼミナール 1	2前・後	1			1		1				
	デジタル系ゼミナール 1	2前・後	1			2	1					
	デザイン系ゼミナール 1	2前・後	1			1	1	1				
	経営学系ゼミナール 1	2前・後	1			1	1	1				
	国際系ゼミナール 2	3前・後	1			1		1				
	デジタル系ゼミナール 2	3前・後	1			2	1					
	デザイン系ゼミナール 2	3前・後	1			1	1	1				
	経営学系ゼミナール 2	3前・後	1			1	1	1				
	卒業研究 1	4前	2			5	3	3				
	卒業研究 2	4後	2			5	3	3				
	Introduction to European Studies	2前	3			1						
	基礎異文化コミュニケーション	2・3・4期	2									1
	International Management	3後	2			1						
	アジア事情	3・4前	2			1						
	応用異文化コミュニケーション	3・4前	2									1
	Ecosystem and Standardization	3・4後	2					1				
	Japan in a Global Context	3・4後	2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	データ分析入門	2後	2			1						
	Information Systems Design	2後	2				1					
	Enterprise Architecture with Digital IT Strategy	3後	2			1						
	デジタル・ヘルスケア	3・4前	2			1						1
	情報セキュリティ	3・4前	1									
	プログラミング応用	3・4前	2				1					
	Data Strategy	3・4後	2			1						
	Information Ethics	3・4前	2									1
	Project Management	3・4後	2				1					
	立体デザイン論	2前	2					1				
	Creative Confidence	2後	2				1					
	ミーティングデザイン	2・3・4前	2									1
	Design Thinking (Basic)	3前	2					1				
	ナラティブ理論	3・4後	1									1
	Global Public Life	3・4後	2					1				
	Design Thinking (Advanced)	3・4後	2					1				
	Entrepreneurship and Innovation	3・4前	2									1
	Operations Management	2後	2			1						
	企業倫理	2後	2					1				
	経営の経済学	2・3・4前	2									2
	会計学概論	2・3・4後	2									1
	Management Information	3前	2				1					
	経営組織論	3・4前	2					1				
	経営分析	3・4後	2									1
	経営戦略論	3・4前	2					1				
	Information Systems Strategy and Management	3・4後	2				1					
	Data Visualization for Business	3・4前	2					1				
Digital Marketing	3・4前	2			1							
イノベーションマネジメント	3・4後	2			1							
ビジネスゲーム	3・4後	2			1							
ビジネス法務	3・4後	2									1	
Service Science	3・4後	2			1							
営業の科学	3・4前	2									1	
キャリアデザイン	2・3・4後	2									1	
小計 (51科目)	—	—	27	66	0	5	3	3	0	0	11	
合計 (151科目)	—	—	68	193	0	5	3	3	0	0	98	
卒業要件及び履修方法												
一般教養科目のうち必修科目から8単位、選択必修2単位、選択科目18単位、基礎科目のうち必修33単位、専門科目のうち必修科目27単位、選択必修科目4単位、選択科目26単位を修得する。さらに経営学部・他学部の科目から10単位を修得し、128単位を修得する。(履修科目の登録の上限：49単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・新型コロナウイルス感染症への対応から、1年次の教育を行うキャンパスを北海道・長万部キャンパスから神楽坂キャンパスへ変更したこと、及び教育課程充実のため以下の科目の配当年次に1年次を追加。
 - 「生命科学入門」「倫理学1」「倫理学2」「論理学1」「論理学2」「哲学1」「哲学2」「宗教学1」「宗教学2」「現代思想」「芸術1」「芸術2」「文学1」「文学2」「歴史学1」「歴史学2」「比較文化論2」「法学1」「法学2」「日本国憲法」「政治学1」「政治学2」「経済学1」「経済学2」「心理学1」「心理学2」「カウンセリング概論」「知的財産基礎」「日本語表現法1」「日本語表現法2」「組織文化論」「企業連携論」「地域連携論2」「ドイツ語1」「ドイツ語2」「フランス語1」「フランス語2」「中国語1」「中国語2」「科学技術と社会」「科学史1」「科学史2」「現代技術論」「情報社会および情報倫理」「健康スポーツC(実技)」「健康スポーツD(実技)」「日曜集中体育実習」「健康・スポーツ科学」「特別教養講義2」
- ・教育課程充実のため、以下の科目の配当年次に2、3、4年次を追加。
 - 「英米文化論」
- ・時間割編成上の都合により、以下の科目の開講時期を変更。
 - 「生命科学入門」「現代生物学概論」「現代物理学概論」「現代化学概論」「倫理学1」「歴史学1」「組織文化論」「企業連携論」「科学史1」「科学技術と社会」「健康スポーツA(実技)」「健康スポーツB(実技)」
- ・時間割編成上の都合により、以下の科目の担当者を変更。
 - 「現代化学概論」「健康スポーツD」「シーズンスポーツ実習1」「シーズンスポーツ実習2」「健康・スポーツ科学」
- ・担当者(兼任教員)の辞任により、以下の科目の担当者を専任教員に変更・追加。
 - 「ビジネスモデル入門」「テック基礎」「経営学入門」
- ・教育課程充実のため、以下の科目の担当者を追加。
 - 「生命科学入門」「現代物理学概論」「哲学1」「英米文化論」「地域連携論2」「Reading and Writing 1」「Reading and Writing 2」「科学技術と社会」「科学史1」「コ・デザインプロジェクト」

【令和4年度】

・一般教養科目について、全学的な教養教育カリキュラムの変更により、多数の科目で新規科目追加、名称変更等が生じているが、各科目群の科目数が増加(63科目)すること等により、設置計画からの大幅な変更はない。また、「認可時又は届出時」に記載した科目の内、「令和4年度」欄に記載のない科目については、令和3年度入学者用に授業を開講している。

・全学的な教養教育カリキュラムの変更(TUS くさび形教養教育カリキュラムの導入)により一般教養科目に新規科目を追加(74科目)。

- 「現代数理学A」「現代数理学B」「生命科学緒論」「生命科学実験1」「生命科学実験2」「生命科学詳論」「文化と文学(アジア語圏)」「文化と文学(ヨーロッパ語圏)」「読書論」「西洋近代史」「西洋現代史」「文化人類学」「外国文化論」「言語と文化」「人文地理学」「法の歴史と思想」「政治と社会」「国際関係論」「臨床心理学」「知的財産とビジネス」「知財経済論」「ライティング&プレゼンテーション」「グローバルコミュニケーション論」「技術経営概論」「情報と職業」「日本事情1」「日本事情2」「ドイツ語(中級A)」「ドイツ語(中級B)」「ドイツ語(中級C)」「ドイツ語(中級D)」「フランス語(中級A)」「フランス語(中級B)」「ロシア語(中級A)」「ロシア語(中級B)」「中国語(中級A)」「中国語(中級B)」「ドイツ語(初級C)」「ドイツ語(初級D)」「フランス語(初級C)」「フランス語(初級D)」「ロシア語(初級A)」「ロシア語(初級B)」「ロシア語(初級C)」「ロシア語(初級D)」「中国語(初級C)」「中国語(初級D)」「日本語会話(基礎)」「日本語会話(初級)」「日本語会話(中級A)」「日本語会話(中級B)」「日本語文法(基礎)」「日本語文法(初級)」「日本語文法(中級A)」「日本語文法(中級B)」「データサイエンス・AI概論」「統計学1」「統計学2」「情報化社会及びメディア」「環境学」「防災学」「身体機能測定演習」「チームビルディングとスポーツ」「初年次教養ゼミA」「初年次教養ゼミB」「教養フォーラム(社会と人間)」「教養フォーラム(文化と思想)」「メディアと現代社会ゼミ」「政策科学ゼミ」「教育臨床心理学ゼミ」「スポーツ科学ゼミ」「法と科学ゼミ」「歴史と文明ゼミ」「知的財産ゼミ」

・全学的な教養教育カリキュラムの変更(TUS くさび形教養教育カリキュラムの導入)により一般教養科目の統合、配当年次、担当教員を変更(54科目)。

- 「生命科学入門」「現代生物学概論」「現代物理学概論」「現代化学概論」「現代社会と倫理」「倫理学」「論理学」「哲学」「宗教学」「現代思想」「芸術」「芸術文化論」「文学」「歴史学」「歴史と人間」「比較文化論」「社会と法」「法の現代的課題」「日本国憲法」「政治学」「現代政治論」「経済学」「現代社会と経済理論」「心理学」「心理学と社会」「社会学」「現代社会学」「知的財産論」「日本語表現法」「地域連携論1」「地域連携論2」「Reading & Writing 1」「Reading & Writing 2」「Listening & Speaking 1」「Listening & Speaking 2」「Reading & Writing 3」「Reading & Writing 4」「Listening & Speaking 3」「Listening & Speaking 4」「ドイツ語(初級A)」「ドイツ語(初級B)」「フランス語(初級A)」「フランス語(初級B)」「中国語(初級A)」「中国語(初級B)」「科学技術と社会」「科学史」「科学哲学」「情報社会及び情報倫理」「健康スポーツC(実技)」「健康スポーツD(実技)」「シーズンスポーツ実習1」「シーズンスポーツ実習2」「日曜集中体育実習」「健康・スポーツ科学」

・担当者(兼任教員)の辞任により、以下の一般教養科目、基礎科目担当者を専任教員に変更・追加(3科目)。

- 「ビジネスモデル入門」「テック基礎」「経営学入門」

・教育課程充実のため、以下の基礎科目、専門科目の担当者を追加(15科目)。

- 「テック基礎」「コ・デザインプロジェクト」「Global Leadership」「デジタル技術の基礎数理」「Representation in Design(Basic)」「経営管理論」「国際系ゼミナール1」「Introduction to European Studies」「基礎異文化コミュニケーション」「データ分析入門」「Information Systems Design」「立体デザイン論」「Creative Confidence」「Operations Management」「企業倫理」

・時間割編成上の都合により、以下の専門科目の担当者を変更。

- 「経営学系ゼミナール1」

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
38 科目	113 科目	0 科目	151 科目	38 科目 [0]	176 科目 [63]	0 科目 [0]	214 科目 [63]	全学的方針による教養教育カリキュラムの改編のため大幅に増加。

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						<p>該当なし</p> <p>(「(1)―①授業科目表」の令和4年度欄において「未開講」の科目は、国際デザイン経営学科の設置計画とは別に、令和4年度から全学的な方針のもとで行われた教養教育カリキュラムの改編（TUSくさび形教養教育カリキュラムの導入）により追加した科目における未開講科目であるため、当該欄に記載すべき未開講科目には該当しない。）</p> <p>[詳細は(5)に後述する。]</p>
2						
3						
3						
3						
3						
3						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	特別教養講義2	2	2・3・4前	一般	選択	全学の方針の下で神楽坂キャンパス共通で開講される科目であるが、全学的に廃止することとしたため。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>令和4年度に変更のあった科目は、国際デザイン経営学科の設置計画とは別に全学的な方針の下で行われた教養教育カリキュラムの改編（TUSくさび形教養教育カリキュラムの導入）により変更された一般教養科目であるため、上記「(3) 未開講科目」への記載には該当しない。</p> <p>なお、これらの教養教育カリキュラムの改編により変更された科目における未開講科目は、次に示す理由から、未開講であっても履修上の支障はない。</p> <p>①配当年次が2年次以上の未開講科目（18科目） 令和4年度の新入生を対象とし（新規科目は在学生も履修可能）、これらの未開講科目は令和5年度以降開講予定の科目である。</p> <p>②配当年次が1・2年次の未開講科目（4科目） 令和4年度の新入生を対象とし（新規科目は在学生も履修可能）、来年度2年次に進級しても履修可能な科目であり、令和5年度以降開講予定の科目である。</p> <p>以上のことから、令和4年度時点で「未開講」であっても履修上の支障はない。</p> <p>また、教養教育については、専門分野に偏りがちであったカリキュラムを見直し、幅広い知識を身に付けさせることを目的とし、一般教養科目では、廃止・未開講科目以外にも多様な科目を開講している。</p> <p>経営学部国際デザイン経営学科のある富士見校舎は、神楽坂校舎とあわせて神楽坂キャンパスを構成しているが、一般教養科目は原則として各キャンパスに所在する全学部に履修を解放している。このことから、学生は多様な教養科目を履修できるため、未開講・廃止による影響はないと考えられる。</p>
--

なお、開講科目については、授業時間割表に記載し、履修の手引き及びガイダンスにより周知している。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{151} = \boxed{0.66}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 【借用地】 ・(葛飾・図書館棟敷地) ・面積 5,454.42㎡ ・期間 2023年3月31日 まで ・(野田・運動場敷地) ・面積 1,391.00㎡ ・期間 2021年9月10日 まで 【変更の事由】(3) ・神楽坂10号館ANNEX 土地購入396.69㎡増加					
	校舎敷地	369,442.69 ㎡ 369,046.00 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	369,442.69 ㎡ 369,046.00 ㎡						
	運動場用地	401,176.21 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	401,176.21 ㎡						
	小 計	770,618.90 ㎡ 770,222.21 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	770,618.90 ㎡ 770,222.21 ㎡						
	そ の 他	35,130.74 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	35,130.74 ㎡						
	合 計	805,749.64 ㎡ 805,352.95 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	805,749.64 ㎡ 805,352.95 ㎡						
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 【借用建物】 ・(神楽坂・富士見校舎) ・面積 7,345.60㎡ ・期間 2036年4月30日 まで ・(神楽坂・双葉実業ビル) ・面積 1,308.30㎡ ・期間 2023年5月11日 まで ・(神楽坂・12号館) ・面積 331.81㎡ ・期間 2028年3月31日 まで ・(神楽坂・10号館別館2) ・面積 291.85㎡ ・期間 2031年6月30日 まで 【変更の事由】(3) ・(神楽坂) ・神楽坂10号館ANNEX建 物購入615.36㎡増加 ・(野田) ・実験棟新築 4,570.03㎡増加 ・喫煙所新設 11.93㎡増加 ・用途変更 490.08㎡減少 ・(北海道・長万部) ・用途変更 309.38㎡減少 【変更の事由】(4) ・神楽坂10号館別館2 291.85㎡増加 ・用途変更 514.60㎡増 加					
		309,557.56 ㎡ 308,751.11 ㎡ 304,353.25 ㎡ ²	0 ㎡	0 ㎡	309,557.56 ㎡ 308,751.11 ㎡ 304,353.25 ㎡ ²						
		(304,353.25 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(304,353.25 ㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	225室 222室 219室	演 習 室	163室 164室 174室	実験実習室	668室 670室 629室	情報処理学習施設	13 室 22 室 6人 7人 (補助職員 11人)	語学学習施設	2 室 (補助職員 0人)	大学全体
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	経営学部 国際デザイン経営学科			11 室							

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体	
	経営学部 国際デザイン 経営学科	888,936[290,304] 920,020[310,249] 895,618[307,176] (895,618 [307,176])	15,693[13,913] 15,056[13,244] 18,286[16,486] (18,286 [16,486])	9,963[9941] 9,301[9,294] 12,486[12,479] (12,486 [12,479])	5,859 5,950 6,158 (6,158)	10,051 11,611 (11,611)	0 1 (1)		
	計	888,936[290,304] 920,020[310,249] 895,618[307,176] (895,618 [307,176])	15,693[13,913] 15,056[13,244] 18,286[16,486] (18,286 [16,486])	9,963[9941] 9,301[9,294] 12,486[12,479] (12,486 [12,479])	5,859 5,950 6,158 (6,158)	10,051 11,611 (11,611)	0 1 (1)		
(6) 図書館	面積 11,061㎡		閲覧座席数 2,152席 2,169席		収納可能冊数 719,388冊 752,441冊				
(7) 体育館	面積 10,094.86㎡		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
		テニスコート 13面		柔道場 2面					
		野球場 2面		ラグビー場 1面					
		ソフトボール場 3面		サッカー場 2面					
		洋弓場 1面		弓道場 1面					
		剣道場 1面		屋外ゴルフ場 1面					
		トラック 2面		多目的グラウンド 1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	「教員1人当りの研究費等」の教授、准教授、講師のうち、実験系教員については、「実験系教員」分の単価(100千円)を加算する。(3) 「教員1人当り研究費等」、「図書購入費」及び「設備購入費」については、令和34年度予算配分額を記載。(3)-(4) 「図書購入費」には、電子ジャーナル、データベースの整備費(運用コスト)を含む。 学生1人当りの納付金は令和34年度入学生に適用する学生納付金を記載。なお、卒業研究費、選択科目実験実習費等は含まない。(3)-(4)
		教授	500千円	500千円	図書購入費	2,901千円	4,783千円 2,901千円	7,716千円 4,783千円 2,901千円	
		准教授	500千円	500千円					
		講師	500千円	500千円					
		助教	500千円 400千円	500千円 400千円					
		助手	—	—					
	共同研究費等	0円	0円	設備購入費	463千円	743千円 463千円	1,749千円 743千円 463千円		
学生1人当り納付金	第1年次 1,380千円	第2年次 1,080千円	第3年次 1,080千円	第4年次 1,080千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入、補助金収入、資産運用収入により維持運営する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	東京理科大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(CA期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
理学部第一部	4	720	-	2,880	学士(理学)	0.96	0.96	-	昭和24	-	
数学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.93	0.93	-	昭和24	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
物理学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.95	0.95	-	昭和24	同上	
化学科	4	120	-	480	学士(理学)	1.00	0.95	-	昭和24	同上	
応用数学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.94	0.96	-	昭和36	同上	
応用物理学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.98	0.90	-	昭和35	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	
応用化学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.96	1.08	-	昭和34	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
理学部第二部	4	360	-	1,440	学士(理学)	0.95	1.00	-	昭和24	-	
数学科	4	120	-	480	学士(理学)	1.00	1.05	-	昭和24	東京都新宿区神楽坂一丁目3番地	
物理学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.91	0.87	-	昭和24	同上	
化学科	4	120	-	480	学士(理学)	0.95	1.08	-	昭和24	同上	
薬学部											
薬学科	6	100	-	600	学士(薬学)	0.96	0.98	-	平成18	千葉県野田市山崎2641番地	
生命創薬科学科	4	100	-	400	学士(薬科学)	0.98	0.99	-	平成18	同上	
工学部	4	550	2年次20	2,260	学士(工学)	0.95	0.98	-	昭和37	-	
建築学科	4	110	2年次20	500	学士(工学)	0.97	0.95	令和2	昭和37	東京都葛飾区新宿6丁目3番1号	定員変更(20)(建築学科)
工業化学科	4	110	-	440	学士(工学)	0.99	1.00	-	昭和37	同上	
電気工学科	4	110	-	440	学士(工学)	0.92	0.86	-	昭和37	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
経営工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和40	同上	平成28年度より 学生募集停止 (経営工学科)
情報工学科	4	110	-	440	学士 (工学)	0.91	1.05	-	平成28	同上	
機械工学科	4	110	-	440	学士 (工学)	0.98	1.05	-	昭和40	同上	
工学部第二部					学士 (工学)	-	-				
経営工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	昭和51	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号	平成28年度より 学生募集停止 (経営工学科)
理工学部	4	1,240	-	4,960	学士 (理学) 又は (工学)	0.97	0.93	-	昭和42	-	
数学科	4	120	-	480	学士 (理学)	1.01	1.01	-	昭和42	千葉県野田市山 崎2641番地	
物理学科	4	120	-	480	学士 (理学)	0.93	1.08	-	昭和42	同上	
情報科学科	4	120	-	480	学士 (理学)	0.93	0.92	-	昭和51	同上	
応用生物科学科	4	120	-	480	学士 (理学)	0.94	0.85	-	昭和51	同上	
建築学科	4	120	-	480	学士 (工学)	0.99	0.94	-	昭和42	同上	
先端化学科	4	120	-	480	学士 (工学)	0.94	0.85	-	昭和42	同上	
電気電子情報工学科	4	160	-	640	学士 (工学)	0.95	0.85	-	昭和42	同上	
経営工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	0.96	0.95	-	昭和42	同上	
機械工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	1.01	1.04	-	昭和42	同上	
土木工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	1.00	0.86	-	昭和50	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
先進工学部	4	360	-	1,440	学士 (工学)	0.91	0.93	-	昭和62	-	
電子システム工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	0.90	0.99	-	昭和62	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号	
マテリアル創成工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	0.94	0.95	-	昭和62	同上	
生命システム工学科	4	120	-	480	学士 (工学)	0.90	0.86	-	昭和62	同上	
経営学部	4	480	-	1,920	学士 (経営学)	0.96	1.01	-	平成5	-	
経営学科	4	180	-	1,000	学士 (経営学)	0.92	0.99	令和3	平成5	東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地	定員変更(△ 140) (経営学科) 定員変更(20) (ビジネスエコ ノミクス学科)
ビジネスエコノミクス学科	4	180	-	680	学士 (経営学)	0.94	1.09	令和3	平成28	同上	
国際デザイン経営学科	4	120	-	240	学士 (経営学)	1.20	0.92	-	令和3	(1年次) 北海道山越郡長 万部町字富野 102番地1 (2~4年次) 東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地	
大学全体	4 6	3,810 100	20 -	15,300 600	- -	0.95 0.96	0.97 0.98	- -	- -	- -	
合計	-	3,910	20	15,900	-	-	-	-	-	-	
大 学 の 名 称	東京理科大学大学院						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超 過率1.3倍以上の 学科数	14	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
理学研究科											
(修士課程)	2	290	-	580	修士 (理学) 又は (学術)	1.10	1.18	-	昭和33	-	
数学専攻	2	15	-	30	修士 (理学)	1.43	1.66	-	昭和33	東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地	
物理学専攻	2	50	-	100	修士 (理学)	0.94	0.98	-	昭和33	同上	定員変更(10) (物理学専攻)
化学専攻	2	120	-	240	修士 (理学)	1.14	1.26	-	平成29	同上	
応用数学専攻	2	25	-	50	修士 (理学)	1.44	1.88	-	平成21		
応用物理学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	1.30	1.30	-	平成21	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号 東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地	
科学教育専攻	2	40	-	80	修士 (学術)	0.62	0.45	-	平成29		

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(博士後期課程)	3	21	-	63	博士 (理学) 又は (学術)	1.36	1.71	-	昭和36	-	
数学専攻	3	3	-	9	博士 (理学)	1.44	1.66	-	昭和36	東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地	
物理学専攻	3	5	-	15	博士 (理学)	1.93	2.20	-	昭和36	同上	
化学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	1.25	1.50	-	平成29	同上	
応用数学専攻	3	3	-	9	博士 (理学)	0.77	0.66	-	平成21	同上	
応用物理学専攻	3	3	-	9	博士 (理学)	0.88	1.66	-	平成21	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号	
科学教育専攻	3	3	-	9	博士 (理学) 又は 博士 (学術)	1.55	2.33	-	平成29	東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地	
科学教育研究科											
(博士後期課程) 科学教育専攻	3	-	-	-	博士 (理学) 又は 博士 (学術)	-	-	-	平成23	同上	平成29年度より 学生募集停止 (科学教育専攻 (博士後期課 程))
薬学研究科											
(修士課程) 薬科学専攻	2	90	-	180	修士 (薬科学)	0.82	0.93	-	平成22	千葉県野田市山 崎2641番地	
(博士課程) 薬学専攻	4	5	-	20	博士 (薬学)	0.75	1.40	-	平成24	同上	
(博士後期課程) 薬科学専攻	3	5	-	15	博士 (薬科学)	1.80	2.00	-	平成24	同上	
工学研究科											
(修士課程)	2	290	-	580	修士 (工学)	0.91	0.76	-	昭和41	-	
建築学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	1.02	0.60	-	昭和41	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号	
工業化学専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	1.18	0.93	-	平成29	同上	定員変更(10) (工業化学専攻)
電気工学専攻	2	70	-	140	修士 (工学)	0.85	0.80	-	昭和41	同上	
情報工学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	0.54	0.60	-	令和2	同上	
機械工学専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	0.97	0.83	-	昭和58	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
(博士後期課程)	3	17	-	51	博士 (工学)	0.56	0.47	-	昭和58	-	
建築学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	1.44	1.66	-	昭和58	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号	
工業化学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.33	0.00	-	平成29	同上	
電気工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.44	0.00	-	昭和58	同上	
経営工学専攻	3	-	-	-	博士 (工学)	-	-	-	昭和60	同上	令和2年度より学 生募集停止 (経営工学専攻 (博士後期課 程))
情報工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.66	0.66	-	令和2	同上	
機械工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.20	0.20	-	昭和60	同上	
理工学研究科											
(修士課程)	2	498	-	976	修士 (理学) 又は (工学)	1.17	1.23	-	昭和47	-	
数学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	2.35	3.40	-	昭和47	千葉県野田市山 崎2641番地	
物理学専攻	2	30	-	60	修士 (理学)	1.11	1.20	-	昭和47	同上	
情報科学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	1.23	1.00	-	昭和55	同上	
応用生物科学専攻	2	60	-	120	修士 (理学)	0.91	0.91	-	昭和55	同上	
建築学専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	1.35	1.41	-	昭和47	同上	
先端化学専攻	2	70	-	140	修士 (工学)	1.04	1.08	-	昭和47	同上	
電気工学専攻	2	80	-	140	修士 (工学)	1.43	1.36	-	昭和47	同上	定員変更 (20) (電気工学専攻)
経営工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.33	1.70	-	昭和47	同上	
機械工学専攻	2	60	-	120	修士 (工学)	1.20	1.30	-	昭和47	同上	
土木工学専攻	2	30	-	60	修士 (工学)	1.23	1.33	-	昭和54	同上	
国際火災科学専攻	2	28	-	56	修士 (工学)	0.35	0.35	-	平成30	同上	

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度
(博士後期課程)	3	35	-	105	博士 (理学) 又は (工学)	0.75	0.80	-	昭和49	-
数学専攻	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	0.33	-	昭和49	千葉県野田市山 崎2641番地
物理学専攻	3	3	-	9	博士 (理学)	0.77	0.33	-	昭和49	同上
情報科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.33	0.00	-	昭和57	同上
応用生物科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.91	1.25	-	昭和57	同上
建築学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	1.10	0.33	-	昭和49	同上
先端化学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.99	1.66	-	昭和49	同上
電気工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	1.11	1.33	-	昭和49	同上
経営工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.22	0.00	-	昭和49	同上
機械工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	1.33	2.00	-	昭和49	同上
土木工学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.77	0.66	-	昭和54	同上
国際火災科学専攻	3	3	-	9	博士 (工学)	0.55	1.00	-	平成30	同上
先進工学研究科										
(修士課程)	2	150	-	300	修士 (工学)	1.07	1.17	-	平成3	-
電子システム 工学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	0.86	1.06	-	平成3	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号
マテリアル創成 工学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	1.19	1.22	-	平成3	同上
生命システム 工学専攻	2	50	-	100	修士 (工学)	1.18	1.24	-	平成3	同上
(博士後期課程)	3	18	-	54	博士 (工学)	0.14	0.11	-	平成5	-
電子システム 工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.05	0.00	-	平成5	東京都葛飾区新 宿6丁目3番1号
マテリアル創成 工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.10	0.00	-	平成5	同上
生命システム 工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.27	0.33	-	平成5	同上
経営学研究科								-		
(修士課程) 経営学専攻	2	20	-	40	修士 (経営学)	0.75	0.70	-	平成9	東京都新宿区神 楽坂一丁目3番 地
(専門職学位課程) 技術経営専攻	2	80	-	160	技術経 営修士 (専門職)	0.52	0.56	-	平成30	同上
(博士後期課程) 経営学専攻	3	5	-	15	博士 (経営学)	0.33	0.20	-	平成30	同上

既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度	年度
生命科学研究科 (修士課程)	2	15	-	30	修士 (理学)	0.99	0.93	-	平成9	千葉県野田市山 崎2641番地
生命科学研究科 (生物学専攻)	3	5	-	15	博士 (理学)	0.86	1.00	-	平成11	同上
大学院全体										
(修士課程)	2	1,353	-	2,686	-	0.97	0.99	-	-	-
(専門職学位課程)	2	80	-	160	-	0.52	0.56	-	-	-
(博士後期課程)	3	106	-	318	-	0.83	0.90	-	-	-
(博士課程)	4	5	-	20	-	0.75	1.40	-	-	-
合計	-	1,544	-	3,184	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

※ 個人情報が含まれるため非公開（26～44ページ）

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画		
届 出 時 (令和2年)	運動場が別地にあることから、教育に支障のないようにすることはもとより、学生の課外活動等に配慮すること。(神楽坂キャンパス)	遵守事項	神楽坂キャンパス5号館に体育館があり、体育科目や学生の課外活動に使用している。また、野田キャンパスにある運動場については、一部の体育夏期集中科目で使用するとともに、学生は所属キャンパスに関わらず使用することができる。これらのことにより、教育課程の実施に支障はなく、学生の課外活動にも配慮をしている。	履行済	現在の運用を今後も継続し引き続き教育課程を実施するとともに、学生の課外活動にも配慮する。
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 (経営学部 国際デザイン経営学科)	指摘事項 (改善)	本学科設置計画の段階から2名の教員を退職年齢を超えた専任教員として採用することを予定しており、設置計画からの変更はない。また、当該教員2名の就任が開設初年度になっていたこと、及び専任教員の段階的整備により当初の計画どおり順次着任していることから、退職年齢を超える教員が全体に占める割合は昨年度より半減しており、十分に低くなっている。	履行済	学科において将来の人事計画を策定しており、完成年度以降の当該教員2名の退職(令和6年度末)に合わせて新規専任教員の採用を行う予定となっている。
	入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。 (経営学部 国際デザイン経営学科)	指摘事項 (改善)	令和3年度入学者選抜の結果、本学科の入学者数について、入学定員120名に対し178名が入学することとなり、大幅な入学定員超過となった。入試形態別に見ると、重要視した指定校を対象とした「学校推薦型選抜(指定校制)」の入学者が突出して多い状況となった。このため、令和4年度入学者選抜の実施にあたっては「学校推薦型選抜(指定校制)」が募集人員に沿った適正な入学者となるよう指定校の見直しを行い、2021年度入試の330校から、2022年度の132校へ削減した。これにより、令和4年度入学者数は、他の入試方式による入学者を含め、入学定員120名に対し111名となった。	履行済	これまでの入試の結果を十分に分析し、令和5年度入学者選抜の実施にあたっては、入試方式毎に募集人員に沿った適正な入学者数を確保できるように努め、このことにより、各入試形態からバランス良く多様な人材を確保できるように努める。

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 国際デザイン経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>①学科を設置するキャンパス</p> <p>1年次 北海道・長万部キャンパス 2～4年次 神楽坂キャンパス</p>	<p>①学科を設置するキャンパス</p> <p>1～4年次 神楽坂キャンパス</p> <p>届出書「設置の趣旨等を記載した書類」に記載のとおり、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症への対応から、令和3年度における臨時的措置として以下の変更を行った。</p> <p>本学科は1年次に北海道・長万部キャンパスでの全寮制教育を行うこととしていたが、感染症の流行状況と地域社会への影響を鑑みて、1年次全寮制教育は困難であると判断し、令和3年度入学者については、1年次の教育を行うキャンパスを神楽坂キャンパスへ変更した。</p> <p>キャンパスの変更については令和2年7月1日付けで本学ホームページから受験生向けに周知を行い、その後広報冊子、入学試験募集要項においても変更となる旨を記載し、受験生に対し十分に周知を行った。</p> <p>教育課程の実施にあたっては、授業担当教員（非常勤）を追加するとともに、北海道・長万部キャンパス所属の兼担教員3名について、神楽坂キャンパスへの勤務地変更を行い、指導体制を充実させた。</p> <p>また、遠隔地で授業を実施することの対応として、遠隔授業配信システムを活用することとしているが、コロナ禍において本学ではオンライン授業の一形態として、ハイフレックス型授業（1つの授業の中で、教室での対面とPC上でのオンラインを併用する授業）を中心として、オンライン方式を取り入れた授業を実施している。本学科も同方針により、北海道・長万部キャンパスと神楽坂キャンパスで遠隔授業配信システムを活用して授業を実施することで、本来、北海道・長万部キャンパスで行うはずであった教育内容と同等の教育効果が得られるとともに、教育の質も保っている。</p> <p>さらに、施設・設備面については、本学科が、経営学部内の定員を振り替えて設置していることから、経営学部全体の定員に変更がないため、1年次の教育を神楽坂キャンパスで行うにあたって、現在使用している施設・設備で支障なく十分に教育を実施できている。</p> <p>以上の措置については、令和3年度入学者に対しての内容であるが、令和4年度入学者についても、依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見られないことから同様の臨時的措置を行うこととしている。このため、本件については、令和3年5月31日付けで本学ホームページから受験生向けに周知を行い、その後広報冊子、入学試験募集要項においても変更となる旨を記載し、受験生に対し十分に周知を行った。</p> <p>なお、令和5年度入学者の北海道・長万部キャンパスの使用については、新型コロナウイルス感染症の流行状況と社会的状況及び受験生への影響を鑑みて、適切な時期に判断を行う。</p>

②教養教育を実施する組織の変更及び教養教育について

教育支援機構教養教育センター及び理学部第一部教養

③施設・設備について

④海外語学研修等の学外実習を行う場合の具体的計画の変更について

アイルランド国立メイヌース大学での海外実地研修

②教養教育を実施する組織の変更及び教養教育について

教養教育研究院

届出書「設置の趣旨等を記載した書類」に記載のとおり、全学的な教養教育を推進するための組織として設置予定としていた「教養教育研究院」を令和3年4月に設置し、教養関係教員の所属が変更となった。

令和3年度から「教養教育研究院」の全学的な方針のもとで教養教育を実施することとなり、更なる教養教育の充実のため、令和4年度から、1年次から4年次までの緩やかな段階性の下で教養科目を配置する教養教育（TUS くさび形教養教育カリキュラム）を導入するための検討を行っている。

検討の結果、「専門教育の目標」と並列する「教養教育の目標」を達成するためには、新たな教育システムが必要であるとの結論に至ったことから、令和4年度入学者より全学的に「TUSくさび型教養教育カリキュラム」を導入することとなった。

これを受けて、本学科においても教養科目の再編成を行い、各科目群の科目数が増加（63科目）することで幅広い領域の科目を揃えとともに、配当年次に段階を設けることで、教養の各分野を深く学修することを可能とする、充実した教養教育課程となった。

また、卒業所要単位について、全体の単位数（128単位）は変更せず、科目区分毎に内訳の変更を行った。

③施設・設備について

アクティブラーニング室、アトリエ（Design Studio）の追加設置

本学科の教育の特徴を踏まえて一部教室を改修し、以下の2教室を神楽坂キャンパス富士見校舎に設置した。

・アクティブラーニング室

本学科の教育の一つの特徴として、2年次からゼミナール科目を配置する等、少人数教育を挙げていることから、それらを実施するに適した教室としてアクティブラーニング室を設置した。

・アトリエ（Design Studio）

デザイン系科目においては、様々な作品等、ものづくりを通して「自らの表現の創造性に対する自信」を身に付けることを目的としていることから、そのような活動ができる工作室を設置した。

④海外語学研修等の学外実習を行う場合の具体的計画の変更について

アイルランド国立メイヌース大学によるオンライン研修

届出書「設置の趣旨等を記載した書類」に記載のとおり、本学科では2年次必修科目「Introduction to European Studies」において海外研修の実施をカリキュラムに組み込んでいる。令和4年度の実施について、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ先方大学とも検討を進めたが、現地への学生派遣は難しいことからオンライン研修での実施に切り替えることとした。

授業の内容については、前期（4月～7月）での講義及び8月の海外研修で構成しており、現地実施からオンライン実施に変更したこと以外は設置計画からの変更はない。また本授業用に現地を撮影し、教材として使用する等、デジタル技術を最大限活用し、実地での海外研修の内容と同等の質を担保している。

また、海外研修費用は500,000円から46,000円に変更して学生から徴収する。

⑤ 教学における管理運営体制の変更について

全学横断的な4つの機構（教育支援機構、研究推進機構、学生支援機構、国際化推進機構）の設置

なお、令和5年の海外研修実施については、新型コロナウイルス感染症の流行状況や渡航制限の状況を鑑みて、適切な時期に判断を行う。

⑤ 教学における管理運営体制の変更について

全学横断的な5つの機構（教育支援機構、研究推進機構、学生支援機構、国際化推進機構、産学連携機構）の設置及び、機構の下の各センターの改組

学長の政策立案を支援する全学横断的な組織として、4つの機構（教育支援機構、研究推進機構、学生支援機構、国際化推進機構）を設置し、更に機構の下に各センターを設置している。このうち、研究推進機構について、機構の下に設置していた研究戦略・産学連携センターを改組し、「研究戦略センター」及び「産学連携機構」に再編した。特に、「産学連携機構」については、機構の下のセンターから格上げを行うことで機能強化を行い、学外機関との連携等を通じて、研究成果の社会還元を推進することを目的としている。

また、教育支援機構の下に設置していた「教育開発センター」について、これまで実施してきたFD活動を推進するとともに、ICTの活用等デジタル技術を積極的に活用することで教育DXを推進し、効果的・効率的な教育活動による教育の質的転換の実現を図ることを目的として、「教育DX推進センター」に改組した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

(FD活動)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

教育開発センター委員会から各学部のFD幹事長を通じて本学のFDに関する施策が伝えられる仕組みとなっている。経営学部国際デザイン経営学科においても、FD幹事を選出し、学科のFD活動の取りまとめを行うほか、大学全体としてのFD活動に参画し、授業内容及び教授法の改善を図っている。

また、学科会議では教育開発センター委員会での審議・検討の結果が報告され、現場の教育活動に反映できる体制を整えている。

なお、令和4年には、これまで教育開発センターが実施してきたFD活動を推進するとともに、ICTの活用等デジタル技術を積極的に活用することで教育DXを推進し、効果的・効率的な教育活動による教育の質的転換の実現を図ることを目的として、教育開発センターを発展・改組した新たな組織である教育DX推進センターを設置し、この下で引き続きFD活動が実施されている。

東京理科大学教育開発センター規程、東京理科大学教育DX推進センター規程は別紙。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

令和3年度の教育開発センター委員会は10回の開催である。

また、経営学部各学科のFD幹事が参加するFD幹事会を年に9回程度の割合で開催している。FD幹事はFD幹事会の内容を学科会議で報告しており、学科会議は全専任教員を構成員とし、原則月1回開催している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 教育施策の実施に関すること。
- ・ 教育課程の改善に関すること。
- ・ その他

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業改善のためのアンケート、卒業予定者対象アンケートの実施
- ・FD通信の発行、FDセミナーの実施
- ・入学後の学力追跡調査の実施
- ・学習相談室の運営
- ・シラバスの作成・点検・改善

b 実施方法

教育開発センター委員会で討議した事項について、各学部のFD幹事会及び学科会議で報告がなされ、学科ごとで実施できる体制が整えられている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

経営学部各学科のFD幹事が参加するFD幹事会を年に10回程度の割合で開催している。FD幹事はFD幹事会の内容を学科会議で報告しており、学科会議は全専任教員を構成員とし、原則月1回開催している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成27年度に教育開発センター委員会が発足し、全学的に実施する教育施策については、各学部のFD幹事会で報告・検討され学科に周知する等、組織的な取り組みを行っている。国際デザイン経営学科でも同様の体制としている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学部・学科の教育方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき立てられた授業の実施状況について、授業改善のためのアンケートをとおして学生からの意見を聴取し、その意見をもとに点検・分析を行い、今後の授業改善に取り組むという組織的なPDCAサイクルを確立し、教育の充実を図ることを目的として実施する。実施方法は、学内ポータルサイト（CLASS）のアンケート機能により、原則として3年サイクルで全科目実施とし、前後期末年2回アンケートを実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生、教員へのフィードバックは、アンケートの集計結果を取りまとめて、学生へは授業期間中にポータルサイトで、教員へは教育開発センター委員会を通じて公開する。

④ 学科独自のFD活動

a 国際デザイン経営学科アドバイザリボードの設置及び活動状況

国際デザイン経営学科の教育・研究、将来戦略、管理運営及び特定の課題について多角的な視点から助言・提言を募るため、学外者7名を委員としたアドバイザリーボードを設置し、令和3年度は委員会を2回開催、開設1年目の状況について専任教員とともに検証・意見交換を行った。また、各委員には本学科の特色ある科目である「コ・デザインプロジェクト」（必修科目）の最終学生発表会に参加願い、本学科の教育について理解を深めてもらった。

なお、各委員から出された企業インターンシップ、キャリアデザイン、就職活動を有機的にリンクしてはどうか等各種の提言については、授業内容に反映させる等教育の改善に向けた具体的なアクションに落とし込んでいる。

（SD活動）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

法人における教員人事の方針及び計画等を取り纏める教員人事委員会において、人事の適正化とあわせ、教育職員の能力及び資質の向上を図る施策を検討している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

各学部等における教員人事スケジュールにあわせるかたちで、原則として4月～7月は月1回、9月・10月は月2回、11月・12月は週1回、1月は月2回、2月は月1回で実施している。（3月は状況に応じて開催）
構成員については、大学側からは学長が指名する副学長が出席することとしており、副学長が学科主任等を通じ学部学科の意見・要望を吸い上げると同時に、学部学科に対し、大学としての採用計画を伝えている。
構成員には他に理事長が指名する理事若干名が含まれており、大学と理事会とで一体となった議論を行っている。

c 委員会の審議事項等

- ・教育職員の将来の人事計画に関する事、人事制度に関する事
- ・教育職員の採用、昇任等に関する事
- ・教育職員に関するスタッフ・ディベロップメントに関する事

② 実施状況

a 実施内容

令和3年度には、実験関係の法定研修等に加え、多様化する学内・社会において教職員が様々な人材と関わりあっている際に必要となるヒューマンスキルを向上させる観点から、自身のアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）に気づき、個を尊重した適切な考え方について学ぶ「ダイバーシティ&インクルージョン研修」を、令和4年3月に実施した。

あわせて、令和3年7～9月には、教職員のコンプライアンス意識強化の観点から、契約書等の適正性等について前年度に引き続きより詳細に学ぶ「契約に係るコンプライアンス研修（各論編）」を、令和3年12月～翌年1月にかけては、法改正を踏まえつつ、個人情報漏洩の具体的事例等から個人情報に関して遵守すべきことを学ぶ「個人情報保護研修」を、それぞれ実施した。

b 実施方法

実験関係の法定研修については、放射性同位元素、エックス線、高圧ガス等の対象物を扱う教員がeラーニング形式で受講した。

契約に係るコンプライアンス研修、個人情報保護研修についてもeラーニング形式で実施し、教職員の都合にあわせて受講させるかたちとした。

ダイバーシティ&インクルージョン研修については、ヒューマンスキルを伸長させる研修であることを踏まえ講師や他の受講者ともコミュニケーションを取りながら進める双方向性のある研修設計としたが、コロナ禍であることを考慮し、集合形式ではなく、Zoomを使用したオンライン形式での実施とした。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

実験関係の法定研修については、令和3年4月から翌年1月にかけて実施し、当該法規・対象物等に関係するすべての教員が参加した。

全専任教職員を対象として実施した 契約に係るコンプライアンス研修、個人情報保護研修の受講率はそれぞれ54.3%、71.2%となり、特に後者の研修については500名を超える教員が受講した。

ダイバーシティ&インクルージョン研修については、講師や他の受講者との意見交換を行うため人数を絞って実施し、学科主任・専攻主任を中心に各学科・研究科等から選出された1～3名が、事務職員と合同で受講した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

SDのため、授業改善には直接的には関与しない。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代社会はグローバル化、デジタル技術による社会の変革によって、社会問題がますます大規模かつ複雑化し、いわゆる「やっかいな問題」と呼ばれる様々な課題が山積しており、そのような状況の中で、グローバル化、デジタル変革、デザインアプローチの3つのキーワードに代表される、「国際経営」、「デジタル経営」、「デザイン経営」の3つの領域の研究及び教育の必要性が高まっている。このような社会的背景をもとに本学科を設置し、以下の人材育成に関する目的を定めている。

【国際デザイン経営学科の人材育成に関する目的】

国際デザイン経営学科は、数理・論理的思考に基盤を置きながら、経営学に関する知識を裏付けに、デジタル技術の基本原則についての知識を身に付け、グローバルな視点と多様性を尊重し、他分野の人々と協調しながら、社会課題に対する解決法をデザインできる人材を育成する。

教育課程においては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、北海道・長万部キャンパスを使用することができないことから、その代替として神楽坂キャンパスを使用することとし、遠隔授業配信システムによる授業実施、北海道・長万部キャンパス教員の神楽坂キャンパスへの勤務地変更を行うこと等の措置・対応を実施することにより、設置計画に沿って着実に履行することができた。また、本学科の特色ある必修科目「コ・デザインプロジェクト」においては、北海道長万部町をフィールドとしていることから、専任教員が現地を訪問し、地域住民へのインタビューを収録し教材として使用するとともに、地域住民とオンラインでコミュニケーションを取りながら授業を進めることで、当初の授業の目的・趣旨に沿って授業を実施することができた。

令和4年度においても、令和3年度に実施した措置に沿って対応するとともに、海外研修をオンライン海外研修に切り替えるなど新たな課題への対応もできていることから、支障は生じていない状況にある。

令和3年度の本学科への入学者数について、過去の学部の実績に鑑み指定校を重要視しつつ、幅広く広報活動及び学生募集活動を実施することとあわせ、上述の目的と3ポリシーの周知及び学科の存在意義の確立に努めた結果、各入試方式で募集人員を大幅に上回る出願があり、厳正なる令和3年度入学者選抜の結果、本学科の入学者数について、入学定員120名に対し178名が入学することとなり、大幅な入学定員超過となった。入試形態別に見ると、重要視した指定校を対象とした「学校推薦型選抜（指定校制）」の入学者が突出して多い状況となった。

このため、初年度の結果を十分に分析し、令和4年度入学者選抜の実施にあたっては「学校推薦型選抜（指定校制）」が募集人員に沿った適正な入学者となるよう指定校の削減・見直しを行った結果、その他の入試方式を合わせ111名が入学することとなり、入学定員超過を是正するとともに各入試形態からバランス良く多様な人材を確保した。

今後も、本学科の設置の趣旨・目的の達成に向け、設置計画に沿って着実に履行していく。

② 自己点検・評価報告書

〈東京理科大学全体としての自己点検・評価報告書〉

a 公表（予定）時期

令和2年度の自己点検・評価報告書は令和3年5月19日公表済

令和3年度の自己点検・評価報告書は令和4年6月上旬公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書及び（公財）大学基準協会による認証評価結果は、大学ホームページ等にて公表。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・本学は、令和2年度に（公財）大学基準協会による機関別認証評価を受審し、同協会の定める大学基準に適合していることの認定（期間：令和3年4月1日から令和10年3月31日までの7年間）を受けた。

（経営学研究科技術経営専攻）

・令和3年度に（公財）大学基準協会による経営系専門職大学院認証評価を受審し、同協会の定める経営系専門職大学院基準に適合していることの認定（期間：令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間）を受けた。

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [公表後2～3ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

○東京理科大学教育開発センター規程

平成19年10月29日
規程第172号

(趣旨)

第1条 この規程は、東京理科大学教育支援機構規程(平成23年規程第82号)第3条第2項の規定に基づき、東京理科大学教育開発センター(以下「センター」という。)に関し必要な事項を定める。

(目的)

第2条 センターは、東京理科大学(以下「本学」という。)及び東京理科大学大学院(以下「本学大学院」という。)における教育施策を実施するとともに、教育活動の継続的な改善の推進及び支援を行うことにより、本学及び本学大学院の教育の充実及び高度化に資することを目的とする。

(活動)

第3条 センターは、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動の啓発及び支援に関すること。
- (2) 教育施策の実施に関すること。
- (3) 教育課程の改善に関すること。
- (4) その他本学及び本学大学院の教育活動に関すること。

(センター長)

第4条 センターにセンター長を置く。

- 2 センター長は、東京理科大学教育支援機構長(以下「機構長」という。)の命を受けて、センターに関する事項を掌理する。
- 3 センター長は、本学の学長(以下「学長」という。)が機構長と協議の上選出し、東京理科大学教育研究会議の議を経て決定し、理事長に申し出て、理事長が委嘱する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による任期は、前任者の残任期間とする。

(センター委員会)

第5条 第2条に掲げる目的を達成するため、センター委員会(以下「委員会」という。)を置き、次の事項について審議する。

- (1) センターの活動に関する事項
- (2) センターの予算及び決算に関する事項
- (3) その他センターの運営に関する事項

2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織し、学長が委嘱する。

- (1) センター長
- (2) 副学部長又はFDを担当する幹事の長のうちから各学部の学部長が指名する者 各1人
- (3) FDを担当する幹事のうちから教養教育研究院長が指名する者 1人
- (4) 生命科学研究科の専攻主任
- (5) 学長が指名した者 若干人
- (6) 学務部長

3 前項第5号に規定する委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 委員会の委員長は、センター長をもってこれに充てる。

5 委員会は委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故のあるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(意見の聴取)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員会に第2項に定める委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(小委員会の設置)

第7条 委員会に、第3条に規定する活動に係る具体的事項を実施するため、必要に応じて小委員会を置くことができる。

2 小委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(部会)

第8条 委員会に、専門的事項等を調査審議するため、必要に応じて部会を置くことができる。

(事務処理)

第9条 センターに関する事務は、学務部学務課において総括し、及び処理する。

2 学部、大学院及び教養教育研究院のFD活動に関する事務は、別表第1に掲げる部署において処理する。

附 則

1 この規程は、平成19年10月29日から施行し、平成19年10月1日から適用する。

2 東京理科大学教育委員会規程(平成14年規程第97号)は、廃止する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年10月29日から施行し、平成22年10月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

1 この規程は、平成23年11月10日から施行し、平成23年10月1日から適用する。

2 第7条の規定にかかわらず、この規程の施行日の前日において現に第5条第2項第4号並びに第6条第3項第3号及び第4項第3号に規定する委員である者は、改正後の規定により就任したものとみなし、その任期は、就任時に定められた期間とする。

附 則

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成25年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年10月23日から施行し、平成27年10月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月27日から施行し、平成28年10月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成29年4月27日から施行し、平成29年4月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和元年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

別表第1(第9条第2項関係)

学部・研究科	担当事務課等
理学部第一部 理学研究科	教務部理学事務課
理学部第二部	教務部理学事務課
薬学部 薬学研究科	野田統括部薬学事務課
工学部 工学研究科	葛飾統括部工学事務課
工学部第二部	葛飾統括部工学事務課
理工学部 理工学研究科	野田統括部理工学事務課
先進工学部 先進工学研究科	葛飾統括部先進工学事務課
経営学部 経営学研究科	教務部経営学事務課及び教務部経営学事務課専門職 大学院室
教養教育研究院	教務部教務課教養教育研究院事務室
生命科学研究科	野田統括部薬学事務課生命研事務室

○東京理科大学教育 DX 推進センター規程

令和 4 年 3 月 16 日

規程第 23 号

(趣旨)

第1条 この規程は、東京理科大学教育支援機構規程(平成23年規程第82号)第3条第2項の規定に基づき、東京理科大学教育DX推進センター(以下「センター」という。)に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この規程において「教育DX」とは、デジタル技術を積極的に活用することで、学生の学修活動及び教員の教育活動に変革をもたらすための諸活動をいう。

(目的)

第3条 センターは、ICTの活用、ファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)活動の推進等により、東京理科大学(以下「本学」という。)の学生の学修支援及び教員の教育支援の充実を図るとともに、本学における教育DXの推進により、効果的かつ効率的な教育活動による教育の質的転換の実現を図ることで、本学の学生及び教員の学修・教育活動の変革、一層の深化及び好循環を生み出し、学修者本位の教育を実現することを目的とする。

(活動)

第4条 センターは、前条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) 学生の学修支援に関すること。
- (2) 教員の教育支援に関すること。
- (3) 教育DXの推進に関すること。
- (4) 教育効果の評価及び新たな教育方法の開発に関すること。
- (5) その他本学の教育活動に関すること。

(センター長)

第5条 センターにセンター長を置く。

- 2 センター長は、東京理科大学教育支援機構長(以下「機構長」という。)の命を受けて、センターに関する事項を掌理する。
- 3 センター長は、本学の学長(以下「学長」という。)が本学の専任又は嘱託(非常勤扱の者を除く。)の教授のうちから機構長と協議の上選出し、東京理科大学教育研究会議の議を経て決定し、理事長に申し出て、理事長が委嘱する。
- 4 センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による任期は、前任者の残任期間とする。

(センター委員会)

第6条 第3条に掲げる目的を達成するため、センター委員会(以下「委員会」という。)を置き、次の事項について審議する。

- (1) センターの活動に関する事項
 - (2) センターの予算及び決算に関する事項
 - (3) その他センターの運営に関する事項
- 2 委員会は、次に掲げる委員をもって組織し、学長が委嘱する。
- (1) センター長
 - (2) 副学部長又はFDを担当する幹事のうちから各学部の学部長が指名する者 各1人
 - (3) FDを担当する幹事のうちから教養教育研究院長が指名する者 1人
 - (4) 生命科学研究科の専攻主任

- (5) 教育DXの推進に関する知見を有する者として学長が指名した者 若干人
- (6) 学務部長
- 3 前項第5号に規定する委員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員会の委員長は、センター長をもってこれに充てる。
- 5 委員会は委員長が招集し、その議長となる。ただし、委員長に事故のあるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(部門)

第7条 センターに、第4条に規定する活動を実施するために、部門を置く。

(部門長)

第8条 前条に規定する部門に、部門長を置く。

- 2 部門長は、センター長の命を受け、当該部門を代表し、その業務を掌理する。
- 3 部門長は、第6条第2項に定める者のうちから、機構長がセンター長と協議の上で指名する。

(分科会)

第9条 委員会に、委員会から付託された事項を処理するために、分科会を置く。

- 2 分科会は、第6条第2項に定める者のうちから、センター長が指名した者をもって組織する。
- 3 分科会に関して必要な事項は、別に定める。

(意見の聴取)

第10条 委員会又は分科会が必要と認めたときは、当該委員会又は分科会における委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(小委員会の設置)

第11条 委員会又は分科会に、第4条に規定する活動に係る具体的事項を実施するため、小委員会を置くことができる。

- 2 小委員会に関して必要な事項は、別に定める。

(事務処理)

第12条 センターに関する事務は、学務部学務課が統括する。

- 2 センターに関する事務の一部は、学務部学長事務課大学評価・IR室、教務部教務課及び学術情報システム部情報システム課において処理する。
- 3 学部、大学院及び教養教育研究院のFD活動に関する事務は、別表に掲げる部署において処理する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、令和4年4月1日から施行する。

(廃止規程)

- 2 東京理科大学教育開発センター規程(平成19年規程第172号)は、廃止する。

別表(第12条第3項関係)

学部・研究科	担当事務課等
理学部第一部 理学研究科	教務部理学事務課
理学部第二部	教務部理学事務課理学部二部事務室
薬学部 薬学研究科	野田統括部薬学事務課

工学部 工学研究科	葛飾統括部工学事務課
工学部第二部	葛飾統括部工学事務課
理工学部 理工学研究科	野田統括部理工学事務課
先進工学部 先進工学研究科	葛飾統括部先進工学事務課
経営学部 経営学研究科	教務部経営学事務課及び教務部経営学事務課専門職 大学院室
教養教育研究院	教務部教務課教養教育研究院事務室
生命科学研究科	野田統括部薬学事務課生命研事務室